

議会活性化 特別委員会会議録

令和6年12月12日(木)本会議終了後
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

議会活性化特別委員会

日 時：令和6年12月12日（木）

本会議終了後

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

1) 議会基本条例の検証について

・検証・評価シートについて

2) 議会報告会（意見交換会）について

3) その他

4 閉 会

出席議員（9名）

1番	鬼田岳哉君	3番	戸田大我君
4番	内田和彦君	5番	山崎晴生君
6番	真家功君（副委員長）	7番	香取憲一君
11番	村田春樹君（委員長）	13番	谷仲和雄君
14番	長島幸男君（議長）		

欠席議員（1名）

2番 宮内勇二君

◇

議会事務局職員出席者

局長	長谷川 勝彦
次長	須賀田 千恵子

午後4時45分 開会

◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） 皆さま議会終了後ということで、お疲れさまでございます。

ただいまから議会活性化特別委員会を開会いたします。

開会にあたりまして村田委員長挨拶をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さま、一般質問終了後お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回11月22日ですけれども、議会事務局のほうに体調不良で本日もお休みさせていただきましたということでメールを送らせていただいたところ、確認作業が遅れてしまったということで、皆さまのほうにしっかりと体調不良だということをお伝えできなかったという話もありましたので、大変申し訳なく思うところでございます。

議会基本条例の検証について、さらには議会報告会についてと、前回の議事録をしっかりと見させていただきましたところ、様々な活発な意見がありましたということでありました。

今回時間ももうすぐ17時になってしまうんですけれども、できる限りいろんな議論をしながらさくっと終わりにできればと思いますので、どうぞご協力の程よろしくお願い申しあげまして、簡単ではございますけれども挨拶に代えさせていただきます。

○副委員長（真家 功君） それでは、議事の進行については委員長よろしくをお願いします。



◎協議事項

1. 議会基本条例の検証について

・議会報告会について

○委員長（村田春樹君） それでは、協議事項に入ります。

1、協議事項議会基本条例の検証についてを議題といたします。

前回の会議録のほうを見させていただきました。そういった中で、会議録の16ページのほうに山崎委員のほうからあります3条の2のところ、反映させるよう努めるのが議員の責任であり努めているが一緒に2回きていたり、3条の4、政治的な意識を高める傍聴意欲に繋がる工夫が十分でないということも意識を高め傍聴意欲に繋がる工夫が十分ではないとか、日本語的におかしい所があると思うので、そこはよく精査したほうがいいと思います。という会議録を見させていただきました。そういったところを前回打合せの中で自分のほうも会議録

まだだったので、確認できていませんでしたので、早急にそういったところ直していきたいと思いますけれども、その他気になった点とかございますか。その点で事務局のほうに何か気づき次第連絡してくださいと副委員長のほうからあったと思いますが、事務局のほうには連絡がなかったということで、その2点直す形で進めていきたいと思いますので、よろしいですかね。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。そのほかですが、検証評価でなければ最終日の議運のほうに、こちらの検証評価しっかり確定させておはかりして、その後ホームページのほうに載せる形で進めていきたいと思います。

そのほか大丈夫ですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） それでは、議会基本条例の検証についてこれで終了させていただいて、しっかりと議運のほうにはかって、最終的にはホームページのほうに、市民の皆さま方にお示しできるようにしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、議会報告について議題とさせていただきます。

会議録のほうしっかり見させていただいたところ、2月にやるのはだいぶ難しいんじゃないかというお話がございました。

また、9月の全協でしか報告していないんじゃないかとかいろいろございましたけども、令和6年6月14日の議運と全協で皆さま方に、1月から2月に開催しますよとお示しをさせていただきまして、それから皆さんと委員会で協議をさせていただいて、9月の全協での発表、そして議会運営委員会での視察研修の際に議員のほうで1、2名聞いていないよとそういった話が議長のほうからも出ていましたけれども、お酒の席だということでいろいろあります。そういったところでしっかりと議事録のほうとか、そういったものも確認していただければ議運のほうでもしっかりと報告もさせていただいておりますし、お示しもさせていただいておりますので、わかるのかなというふうに存じます。

実際どうでしょう皆さん要綱などでは年1回以上開催することができると書いてございます。必ず年1回以上開催しなければならないというわけでもないですし、香取委員のほうからもファシリティ研修、伊万里市で議運のほうで研修させていただいて、伊万里市の議会改革のほうでファシリティ研修をやってプラスそういったことでワールドカフェ方式の議会意見交換会を行っているということでございましたので、一度ファシリティ研修であったり、ワールドカフェ方式のやり方の研修であったり、そういったものをはさんでから議会意見交換会を行ったほ

うがよろしいのか、それとも2月に進めたほうがいいんじゃないかと、議事録見る限り2月はちょっとあれなんじゃないかとあるんですけども、そういったことで前回の議事録を見た限り2月にこだわらなくてもいいのではないかという意見が多かったと思いますので、例えば来年今までどおりの議会報告会ですと、夏7月、8月辺りにやっていたとは思いますが、その頃を目標として様々なそれまでにいろんな研修、議会全体でのワールドカフェとかファシリティ研修とか行ってからの意見交換会にしたほうがよろしいでしょうか、どうでしょうか皆さんの意見を聞かせていただきたいと思いますのでお願いします。

真家副委員長

○副委員長（真家 功君） 前回の会議で2月にはこだわらないということは決まりましたので、今までずっと議運のほうでも2月にやるという報告をしていると思うので、今回の議運で、そうではないということをお伝えしていただきたいと思います。この前香取委員からいい提案がありましたので、そういう勉強をしながら研修みたいのをやりながら、今言った8月のそういうやつで、焦らずやるような方向がいいかなとわたしは思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 報告会の実施要綱を確認してみたところ、実施時期は委員会において決定すると。委員会というのは報告会の企画運営は議運で決定した委員会が行うと。だから確認で議運でこの委員会がやるということは決定しているんですね。だからこの委員会で2月とか8月とか決定することができるか書いてあるんで、この委員会で決めれば2月にこだわらず何月でもできるんじゃないかと思いますが、ここで決定できればいいのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） そもそもなんで2月に設定していたものができなくなったということ、説明していただけないですか。

○委員長（村田春樹君） 実際本来この特別委員会の中でまず行って、そこから報告会の実施要綱であったりとか、基本条例であったりとか、そういったところの改正を行っていくような流れで進めていきたいとわたくし自身思っていたんですが、全員で参加ということもあっていろいろと進まないようなところも出てきてしまったのかなというふうに感じるころもありますし、わたくし自身も体調不良で休んでしまったころもありまして、皆さま方に大変ご迷

惑をかけたということも多々あると思います。そういった中で、今回2月にやる事自体が少し難しいのかなというふうに皆さんが思い、前回の委員会の中で皆さま方でお話をいただいて、今回2月にこだわらなくてもいいのではないかという話しもありましたので、そういったことで来年度になるんですかね、そういった形で進めていかなければならないのかなと感じたところでございます。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 延期したほうがいいよねではなくて、2月にできないというからこういう話しになってるんじゃないですかね。先ほど真家副委員長からもあった準備不足という話しもありましたけど、夏ですか、今後スケジュールをつくりましょう、つくって示されたと思うんですよ。なんであの工程どおりにスケジュールどおりに動いてないんだ毎月開催しててという。市民の広報委員会のほうですけど市民の声をみると、是非やってくれという話しがきてるわけですよ。何やってたんだこの半年ということになっちゃうじゃないですか我々。市民の負託を請けてる立場ですよ、恥ずかしいことだと思いますよ。延ばすなら延ばすでしょうがないと思うんですよ。じゃ何やってたんだ我々って話になるじゃないですか。なので、わたしとしては延ばすのはいいと思うんですけど、こんなこと繰り返されないようにやらないといけないと思うんですよ市民の代表として。それだけはお伝えさせていただきます。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。実際全議員でやるものだと考えると、準備不足に確実になるようなものだと思っております。実際この委員会プラス議長 11名でワールドカフェ方式でやるとなれば2月にやることはおそらくわたくし個人としては可能だというふうに感じていたところでもあるので、少し残念に思うところもありますけども、そういった苦渋の決断をしながらも、しっかり全議員で参加できる体制を整えていくために、様々な全議員での研修を行い、次の開催日をしっかりと決めてそのまま目標に向かって進めていきたいと思っておりますので、何卒ご理解、ご協力いただくようよろしくお願いいたします。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 全議員でということで、議運等々でもワールドカフェ方式でやりますよというような話しはあったと思うんですけど、他の議員さんに関しても全協等でワールドカフェ方式でやることには皆さんどうなんですかね賛成というか、この方式は嫌だなとか、この方式のほうがいいなとかそういう意見とかあるのでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 特にそういったこの方式は嫌だなとかという話し自身聞かない。逆にワールドカフェ方式をよくわからないというのももしかするとあるのかもしれないので、

そういった研修を企画してやるべきなんだろうなと思うところでございます。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 多分ワールドカフェ方式でやった場合、ファシリテーターとしての技量によって左右されちゃうところがあると思うんです。皆さん議員なんでできるとは思いますが、特に年配の議員さんなんかは中々理解ができない、全員でやるのができないのかというところも心配されることではあると思うので、どのぐらい議運のほうでワールドカフェ方式ってこういうことですよというような説明はしていると思うんですけど、全員でやるとなるとちゃんとできるのかなというところなんかはありますね。多分ファシリテーターができる人材であれば円滑に進むと思いますけども、全員が全員ではないと思うので、その辺は考慮したほうがいいなと思います。

○委員長（村田春樹君） 先日鈴木委員と少し話をしたときに、全議員でということ自体が、例えば自分たちは全議員さんで議会の意見交換会を行いましょうと言っているのに対し、全議員がまた違う意味で捉えているんじゃないかという話しも鈴木委員のほうから聞いたので、そこを鈴木委員話してもらってもいいですか。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 前回は内容的にも言ったんですけど、言葉の定義というか、イメージするものがみんな例えば赤いものをイメージしてくださいと言ったときに林檎をイメージする人もいれば信号がいたり、赤いものでやりますよと言っていたんだけどこっちの人は信号だと思って、こっちの人は林檎だと思ってたと、そういうような言葉に対するイメージが、だからみんなこれやりますよと言って言葉自体は伝わっていてもイメージがみんな同じイメージを描いていないようなところが前回でいう情報共有というか、それがあったのかなと思っているんです。今村田委員長が描いているのをもう1回しっかりビジョンを示して、それでみんなが共通したイメージを持っていれば、できていくのかなと思うんです。ただこういうのはまだ初めて手探りでハッキリしたこうですよというビジョンを示して、それを相手におんなじイメージのものを共通イメージを、赤いものと言えば実はこういうもので、こうこうこうですよ、赤いものは伝えてあったとしても、その赤いものは一体どういうものなのか、ワールドカフェという言葉が独り歩きしちゃって、具体的にどういう方式でどういうふうに行っているというのが今まで描かれて示してこれなかったのかな。いろいろ委員長不在のこともあって多分それでこういうことになったのかなと思っているので、鬼田委員の気持ちもよくわかりますし、一度こういうふうになってやるということ、またイメージを1回示さないと、このままず

るっというってしまうと思うので、イメージこういう具体的なものを示す方がいいのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。この委員会の中で、全議員さんでやりましょうという話しも決まって議運のほうに話しをさせてもらってやったんですけども、自分としては全議員さんが参加する意見交換会もちろん大事なんですけれども、全議員がファシリテーターできるか、ワールドカフェ方式の意見交換会ができるのかということと中々厳しいようなところもあるので、今回わたくしの考えとしては全議員でももちろん参加するというのは前提として、各テーブルにつくファシリテーターとしてはこの活性化委員会のメンバーで進めていく、例えばそのほかの議員さんに会議録とってもらおうとか、そういった形のほうがすんなりいけるのかなというふうに感じたところなんですけれども、しっかりと時間が延びるということは皆さんで研修をして、全議員で参加できるのかなというふうに感じておりますので、早急にそういった勉強会、そういったものを開いて企画してやっていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 今の言葉もイメージが違って、全議員が参加するという定義が、全員がそこにすれば全員参加なのか、全員がファシリテーターなのか、そこもハッキリしていないというかイメージが食い違っている。多分今までの議会報告会だと全議員が参加した。だけど担当制みたいな感じで班ごとにわけてやっていたと思うんですよ。そうすると全員参加で全員行っているけど班ごとにやっていくのか、だからということで全議員という定義がなんなのか、ファシリテーターが全員できるかできないかっていって、多分どういうイメージなのかはわからないですけども、ファシリテーターやって進めていくにしても、今までファシリテーター誰もができて、誰もができて進めてきたと思うんです。だけど、この流れだとファシリテーターができない人もいるんじゃないかということで研修ということになって、それで2月が難しいという流れになったのかなと捉えてますけども、全員が参加するという定義ですよね。行けばいいのか見てればいいのか、実際にファシリテーターなのか、全議員が参加するという。また、我々がこの委員会が中心となってファシリテーターやるにしても、ここにいれば全員できるというわけでもないと思うんです。それもどういう感じなのか、ファシリテーターのスキルというか、ファシリテーターに求められるレベルがどういうものなのかというのがイメージができないので、簡単に誰でもできるものなのか、研修が必要なのか、そういう細かい具体的なイメージというかビジョンというかがみんなに伝わってなかったしな

のかなと。だけどそれで言葉で言っているから伝わっていると思っていることと、本当に伝わっているのがまた違うような気がしますので、全議員が参加するというのを明確にしたほうがいいかなと思います。

○委員長（村田春樹君） 最終日に報告しなければいけないので、全議員の定義そういったものを皆さんどう考えているのか教えていただけていいですかね。

真家副委員長

○副委員長（真家 功君） わたしは最初議運のほうに、我々活性化委員会が中心になって意見交換会をやるというような報告をしたときに、いや今までどおり全議員でやろうよということも議運のほうの話があって、それで我々だけではなくて全議員でやるということになったと思うんですよ。そのイメージでわたしはいて、ほんとに同じ立場でやるのかなとわたしはずっと思っていたんです。それを我々が実際やって、あとの活性化委員会以外の議員がお手伝いになってしまうのは本当にそれでいいのかとわたし正直心配なの。それでいいというイメージだということから、それを確認しないと怒られちゃうと思うんだよね。なんだ俺ら使えばなしかなとなっちゃったらせつかく報告会は全議員でやろうという提案があった、議運に出ていないからイメージはわからないけど、そういうふうに言われた中でほんとに同じ立場でやるというイメージではないかなとそう思うんだけど、その辺が活性化委員会が中心になってほんとにやっていいのかなというのがよく確認しないと大変なことになると思うんだよね。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。取り敢えず議運のほうで、はじめて議会報告会（意見交換会）についてお話をさせてもらったときに、今は広報紙も出ているし、見る人は見る、興味のある人は報告会をやっても一部の人しか来ないという形だと。十分議会の報告は出していると思っているというそういう話も出ました。その中で議長のほうでいろんな視察研修行っているところでいろいろやっているところもあるので、議会活性化のほうでしっかりと話し合ってもらいたいという話しがございました。そんな中で中身、やり方というものを議会活性化のほうに任せるよという話しだったので、どうするかというのは皆さんで話をしている全議員でやったほうがいいのではないかと話しがありましたので、議運のほうに2つ提案しました。特別委員会の10人プラス議長の11人で、まずはじめてワールドカフェ方式でやるので、そちらの方法でやらしてもらおうのか、それとも全議員でやったほうがいいのかと話をさせていただいたところ、議運のメンバーの中から全議員で今までやっていたんだからやったほうがいいんじゃないかという話しがあり、特にご異議がなかったのでそういった形で全協のほうに報告させていただきたいと思いますということで、9月の定例の最終日に

報告させていただいた次第ではあります。なので、わたしとしては全議員がワールドカフェ方式による意見交換会をやるべきなのかな、どうなんだろうって少し疑問に思いました。なので実際最終的な報告としてはじめての取り組みなので、全議員でやるのももちろんいいことだと思いますし、一度議会報告会の要綱であったりとか、議会基本条例の議会報告会の部分であったりとか、そういった体制をしていくためのひとつの礎としてこの特別委員会で先陣を切って一度やってから来年度、再来年度に繋げていこうかというふうには考えていたのですが。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） その全議員が参加するという定義が、わたしなんか前の議会報告会のイメージが残っているのでファシリテーターやる人もいればマイク持ってきてこっち持つ人とかいてもいいのかなというイメージを勝手に持っていました。だけど全員がファシリテーターというイメージもできるし、中心になったときに俺はただのマイク持ちかよと、例えばね。全議員参加したけど、あなたはマイク持ってこっちやってくださいという人もいて、こっちがファシリテーターでやっていて俺らマイク持ちなんかやりたくないから来ないとか、そうすると全員参加とかという定義をやっぱりハッキリしないと、全員参加してこの方はファシリテーター、この方はマイク持ってこの方は模造紙持ってこういうことをやってくださいという形なのか、それを今まで明確にしてこなかったと思うんです。だからイメージがみんなずれちゃっているからイメージをハッキリしないといくら話し合ってたって時間あつたって進まないと思うので、どういうものなのかをハッキリしたほうがいいと思います、役割分担。

○委員長（村田春樹君） そしたらファシリテーターやる人、マイクを持つ人、そのほかいんな仕事がある。そういった役割分担でやるのか、それとも全員ファシリテーターとしてやるのか、この2択ということで。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） そうすると委員長は決まっていなかったということになっちゃうよ。

○委員長（村田春樹君） もちろん俺は決まっただけ。

○10番（鈴木俊一君） どっちだったの。

○委員長（村田春樹君） 役割分担でやる方向にしていたんだけど。

○10番（鈴木俊一君） それをみんなに伝えてなかったから、多分俺はわかんないちゃったと思う。だから今まで伝え方が、今伝えてもいいし、俺はこう思うんだけどどうでしょうかというのとイメージが違ってたと思うから、自分は相手がわかっていると思っても、相手は違

うイメージしていることもあるから、確認して進めながら役割分担も含めて全員参加でファシリテーター何がいいとかを、役割分担をどれが何人、だいたい何人とかを細かくつくっておかないと。たたき台なんかあってファシリテーターが何人で、マイク持つ人が何人でというのもある程度イメージしていたのかと思うので、ビジョンを伝えたほうがいいかなと思う。

○委員長（村田春樹君） 取り敢えず、ファシリテーターと役割分担するという事で全議員参加の形。中の細かいものについては早急に決めてお話をさせていただければと思いますので、そのほうが時間もあれですし。ファシリテーターとしては最初に言っていたように、議会活性化の10名ということで、今回人数としてテーブルの中に座る方というのは多くて6名かなと考えております。なんで6名なのかと言いますと、先日伊万里市の話もさせていただきました。伊万里市の元議長女性の方ですけれども、その方からテーブルに7人いると本音を言わなくなるよとそういう話もありましたので、じゃどこがラインなのかといたら5、6名あたりがいいんじゃないかという話もありましたので、そういったことで6名、ファシリテーター入れて6名、もしくは会議録とるのであれば会議録とる人、会議録なしで模造紙で皆さんに意見を聞いてここに書き込むとなれば市民の方5名のファシリテーター1名の6名ということで、だいたい10テーブル、そうすると市民の方50名、他の議員さんには大変申し訳なく思いますが、マイクの運びとかいろいろなこと、雑用と言ったらあるかもしれないですけど、そういったことでご協力願うような形で報告させていただきたいと思うんですけど。

一旦ここで暫時休憩とさせていただきます。

暫時休憩

午後5時20分 休憩

午後5時32分 再開

○委員長（村田春樹君） 休憩前に引き続き、会議をはじめます。

それでは早急に、次の目的に向けてのスケジュール案を皆さま方にお示しして、最終日の議運の日までにおつくりして、それからしっかりと説明をして進めていきたいと思っております。

[「はい」の声あり]



2. その他

○委員長（村田春樹君） 次に、その他に移ります。

皆さん何かございますか。

○1番（鬼田岳哉君） 前回委員長ご不在でしたので、繰り返させていただきます。自席での再質答弁執行部の話をさせていただいたことと、2点目がタブレットに関してもう少し有効に活用したいということと、アプリケーション入れたりとか、そういったタブレットの有効活用、3つ目が委員会を含めた育児だとか育休とかいろんなケースが考えられたり、天変地異が考えられたときのウェブを可とするような話をしたいなと思いましたので、前回上げさせていただきます。今回今日の本会議見ていたんですけど、議場の中に空気清浄機とか入れたほうがいいのではないかと思うんですけど、この場かどうかはわかりませんが、環境整備ということで提案させていただきます。

以上4点よろしく申し上げます。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。空気清浄機の話までのものに関しましては、議長のほうから議運のほうに話し出させていただいて、話が進んでいるところでございます。

長島議長。

○議長（長島幸男君） これは議運でお話ししまして、いろいろ研修視察にも行って他の議会でもそういうところがあるということで、これは前向きに検討するというので、いろいろ話が出て、議員のほうのマイクを取って付け替えて執行部のほうにという話があったんですけどね。そういうことやらないで、執行部のほうのところにも、議員と同じようなのを付けて今後そういう形でやっていこうという話になったんですが。これもお金がかかることだから予算関係もお金のほうも確認して、どのくらい費用がかかるかこういうことで、全員反対する人はいませんでしたので、わたしのほうで最終的には全員協議会で山崎議員のほうからあった話の件でお話しようかと思っていたんですが、これは最終日にこのことは話します。

あとと言われてたのが、谷仲議員のほうから予算と決算のときの総括的な質問かな。これについてもお話が出たんですが、これは従来通り一般質問と同じような形で書いていただければ執行部のほうはそれに対しての答えを出すというような形。この2点は全協でお話ししようかなと思っていたんですが。今、空気清浄機これについても新しくお話が出たので、これについても議運のほうで、どのくらい空気が汚れているかわからないですが、それもみんなの話聞いてなるべくそういう形でできればとわたしは思っているの、そういうことで検討したいと思えます。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。先ほど鬼田委員のほうからタブレットの

アプリの話、タブレットを配布された当時にも自分も議運の中で話させてもらって、いろいろそういうところでひと悶着あったんですけども、是非ワード、エクセル、パワーポイント、そういったものが使えるような形づくりを整えていただければただただタブレット、議会のときにだけ使うというものじゃなくなるのかなと感じますので、議長是非ともよろしく願いいたします。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 議長にお願いしたいんですけど、マイクとか議員のところにあるやつを執行部へというところ提案させていただきたいのですが、買うとなると結構すると思うんです。まず自分が思うのは、執行部のほうが自席で我々の質問受けて答弁をするというところを早急にと言いますか、マイクを買うには予算が必要で、予算を通すまで凄いい時間かかると思うので、多分議員のこのマイクって全く100%使わないと思うので、それがあったあとまた議員のほうのマイクとかというところを考えたとしても、何故そう思うかという、一問一答方式と言われているものが全然手をまわしていないのが今の議会の中なんです。執行部の皆さんが行ったり来たりするというのを鑑みて自分たちも質問を考えなければならぬし、その中に混ぜ込んでこれも含めて答弁お願いしますって言う時点で一問一答ではなくなっているので、そういったテンポも悪ければ時間的なところの使い方というところでは、すごく効率悪いなというふうにも思うので、多分議長も楽だと思います。なのでまずは議員のここに付いているものは今使っているのであればそれはひとつ予算を付けてとなると思うんですけど100%使っていないので、それをまず執行部のほうに、20本あるから向こうは22以下の執行部ですので、全部行き渡ると思いますので、まずは試して実際やっていってもらいたいなというところがお願いとしてあります。

○委員長（村田春樹君） 長島議長。

○議長（長島幸男君） その話も出たんですが、相対的にもう1回できればね。あとはこういう話しも出たんですよ。今言った再質問の場合に誰々部長と言ってから答弁席に来る時間があるわけですよ、そうするとその間で考える時間もあるんじゃないかなと、そういう話しも出たんですね。すぐ答えるほかない場合は山崎議員言ったようにすぐ答えるしかないんですよ。多少の時間帯でもそういう話しもあったんですね。今話したように、移動の場合とまだ具体的には検討しているかどうか実際予算面でやっているかどうかわからないですが、やるというような方向付けにはなっていますので、今お話ししたように早くやってほしいとなればそれが一番ですね。それはよく再度検討してどのくらいの費用で収まるか、わかりました。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。あと3つ目、特別委員会、常任委員会のウェブ出席ということでございますけども、全国で一番はじめにやりはじめたのが取手市なのかな。取手市のほうもできれば視察研修という形で行ってみたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

その他ございますか。

[「発言する者なし」]

○委員長（村田春樹君） 自分のほうから1点だけ、初日の議運のときに、倫理条例の改正についてもうだいが改正されていないので、どうでしょうかという話を議運のほうでさせていただきました。他の市町村議会のほうでは、そういった倫理条例とかの改正などは議運のほうでやっているの議運のほうでお願いしますと話をさせていただいたところ、議運長のほうから議会活性化特別委員会っていう話がありました。実際にここでやろうとは考えていたんですけども、他の市町村などの動向を考えると議運でいろいろともんで、そこから改正という流れが多いという話を聞いたんですけど、皆さんどうですかね、そういったところも議運長とも話して今後どういうふうに進めていくのか決めさせていただきたいと思いますので、ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

その他特になければ副委員長お願いします。

○副委員長（真家 功君） 皆さん長時間に渡りお疲れさまでした。それでは以上をもちまして議会活性化特別委員会を閉会といたします。

午後5時45分 閉会